

当事者の立場から 家族に伝えたい事

守口市ひきこもり・不登校など子どものことを心配する家族の会 7月特別例会

7月12日(金)

2時~4時

守口市役所地下1階

(中部エリアコミュニティセンター 会議室2)

ゲストスピーカー

ひきこもり支援アドバイザー

白石 裕一さん

定員：先着30人

(フリーダイヤルでお申込みください)

対象：ひきこもり・不登校など

子どものことを心配する家族

と 支援者

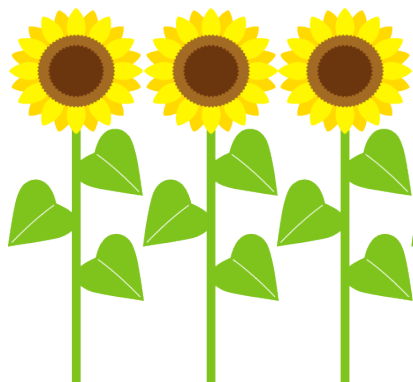


白石さんは、登校拒否からひきこもり、精神疾患を抱えての10年を経て支援に繋がり、ひきこもり支援アドバイザーとして活動されています。ご自身の体験にもとづいてお話いただきます。参加者それぞれが自ら感じ、気づいていくことを大切にしていきましょう。

9月も特別例会を予定しています。

「這えば立て、立てば歩めの親心」の諺のとおり、何かができるようになれば次を望むのが親というもの。不登校やひきこもりのお子さんに対して、それぞれの状態の中で、もう少し子どもの状態を前進させたいと願いながら、「言い過ぎてはいけない」「自立の芽をつんではいけない」「でも言わないとできない」と毎日、一つひとつの場面で葛藤をかかえています。

9月13日の特別例会は、NPO 法人福祉広場理事長で療育の専門家である池添素さんに「子どもを伸ばす声かけ」をテーマにご講演いただきます。参加者が質問できる時間をたっぷりとする予定です。



※「家族の会」は毎月第2金曜日の午後2時~4時に開催しています。

※例会は、話したい人が話したいことを話すスタイルで、話したくないことを話す必要はありません。

※「家族の会」は特別例会の時のみ、出欠確認をしています。

くらしサポートセンター守口 0800-200-8011

月曜~金曜 午前9時~午後5時半 守口市京阪本通2-5-5 守口市役所7階